



山の斜面に広がる美しい茶畑



陣馬山の麓には、  
豊かな自然が残ります

## 事例の概要

和田自治会は、市の最北西部に位置し、地域の産業である山の斜面に切り開いた茶畑と今も残る土蔵が美しい自然と景観を引き出しています。  
過去から世帯数や人口に大きな変化はないものの、市街地への通勤や通学により若者と高齢者の接点が希薄になるという課題を抱えています。  
和田自治会では、地域の実情としてやむを得ない通勤や通学による若者の流出を防ぐのではなく、地区外からの人たちを呼び込むことによって、地域活力の向上を目指す取り組みを「和田の里みちくさの会」と連携して行っています。

# 地域の特性を活かした 活力づくり

## 特徴・ポイント

和田自治会の歴代会長など、より活動的なメンバーで組織する「和田の里 みちくさの会」は、地域にある人材と竹木などの資源を活用したさまざまな体験プログラムを企画・運営しています。このプログラムの一つである「竹細工」は、昔ながらの竹とんぼやカブトムシなど自分で物を作る楽しさを知ってもらうことができるほか、指導する地域の人達との交流が楽しみの1つになっています。竹細工のほか、うどん打ちや茶摘み体験など、各種プログラムが用意されています。

市内外からたくさんの人たちに「和田地区を知ってもらおう」、「地域の人と交流してもらおう」ことによって、和田地区に元氣（活力）を与えています。



竹細工を楽しむ子供たち

場を提供できると考えています。  
もう一つは、山の保全で伐採した間伐材を使った体験プログラムでの「地域交流」と、オリジナル製品の開発による「新しい産業の育成」が考えられます。

### 体験・取材した職員から一言！！



時代が移り変わっていく中で、この地域のことを考え積極的に体験教室など様々な試みをされている姿が印象的でした。緑が深く、また茶畑や蔵など非常に景観の良い地域なので、未永く保たれていくことを願います。（介護保険課 竹内）



地域の持つ魅力・実情を再認識したうえで、将来像を模索する和田自治会。同地区の取り組みは、合併により多様な地域性を持つことになった本市の地域政策の指針になるものと感じました。（防災支援課 阿部）



取材を通じ、地域の皆さんから、豊かな自然と住みなれた場所を守りたいという強い思いを感じました。また、竹細工を体験する家族の笑顔と「またいつでも遊びにおいで」という地域の皆さんのやさしい言葉がとても印象的でした。（土木政策課 後藤）

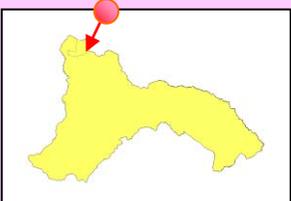
## 課題・展望

竹細工などの体験プログラムにより、独自の活力づくりを

行っている和田自治会ですが、地区外の多くの人たちに「知ってほしい」、「来てほしい」という思いから、2つの新しい事業展開を検討しています。

休日には、陣馬山の峠を越えるサイクリング客が多く、和田地区はその麓にありながら通過点となっています。急勾配を越え体力を消耗したサイクリング客のための休憩場所を設置することで、地域の人たち・サイクリング客同士の交流の

## 団体の基礎DATA



団体名◇和田自治会  
世帯数◇56 世帯  
代表者名◇小林 満さん



問い合わせ先⇒小林 満さんまで  
電話 042-687-5151